

第1回 若葉町 まちの今を知ろう～みんなでやってみよう～

はじめ

ワークショップの目的や今後の流れなどについて、市より説明を行いました。



＜ワークショップって何をするの？＞

参加者のみなさんで話し合いをする「市民検討」のひとつの方法です。「市の計画の説明会」や「住民、利用者の要望を出す場」ではなく、「参加者同士が話し合いをし、より良い案を出す場」です。

今回のワークショップでは、全8回の検討を行い、将来のまちのイメージや、公共施設再編、跡地活用のこだわりポイントなどを班ごとにまとめ、発表します。なお、提案された将来のまちのイメージやこだわりポイントは、市が令和4年度を目途に策定を予定している「若葉町まちづくり方針」の参考とします。

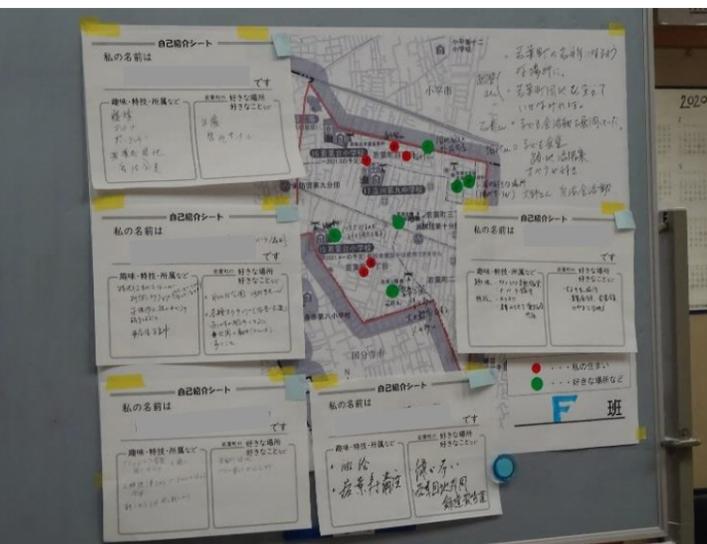
ステップ1 みんなでやってみよう

～アイスブレイクで仲間づくり～

参加者のみなさんは、これから若葉町の将来について考えていく仲間です。お互いを知り、楽しく話し合いを進めるために、6つの班に分かれ、班ごとに自己紹介のワークを行いました。

若葉町のマップに、自分の住まいの場所と、若葉町で好きな場所、好きなことに関連した場所にシールを貼りました。そして、グループのメンバーにそれぞれの場所を紹介しました。

各班にはファシリテーターに加え、市の若手職員も1人ずつ入り、一緒にワークを行いました。



グループワーク



若葉町
好きな場所、好きなこと

- ・けやきモール
- ・若葉会館、若葉図書館
- ・若葉公園
- ・緑が多く、良好な環境
- ・団地の並木
- ・富士山が見える
- ・人とのつながりが得やすい



など

(参加者の自己紹介シートより抜粋)

ステップ2 まちの今を知る

～まちの現状～

立川市 総合政策部行政経営課 渡貫 泰央 課長

人口、公共施設再編、清掃工場移転、小学校の統合、都市計画の5つの要素から見た、若葉町の今の状況について、市より説明を行いました。

- ・立川市の公共施設は老朽化が進み、人口、財政の状況から全ての施設を維持していくことは極めて困難です。2053年までに、床面積20%（約312億円）削減を目標として取り組んでいます。
- ・学校統合や清掃工場の移転等、公共施設を取り巻く環境に大きな変化が見込まれます。
- ・他の圏域と同様に「再編」を進める必要がありますが、確定している跡地等について検討する必要があります。
- ・都市計画道路の整備や生産緑地、団地、公園の状況により、人や物の流れが変化していく可能性があります。



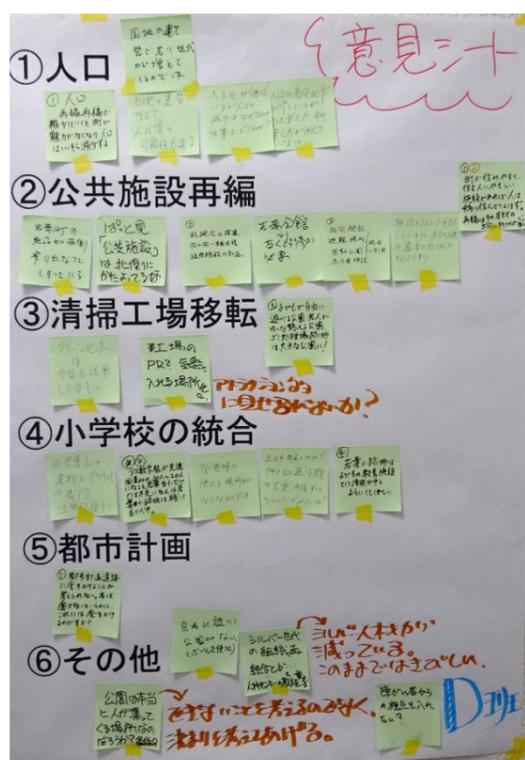
～共有しよう～

グループワーク



市から説明のあった以下の5つの要素について、参加者のみなさんが興味を持ったこと、日頃感じていることについて意見を出し合いました。

(以下、参加者の意見の一部抜粋)



- ① 人口
 - ・若い人が少なく、お年寄りが多い
 - ・まだ人口を増やす取り組みはできるはずである
- ② 公共施設再編
 - ・多世代の人たちが集える場所が欲しい
 - ・ハコモのから空間への発想の転換
- ③ 清掃工場移転
 - ・跡地は住民本意の視点での活用を望む
 - ・移転後は市民の憩いの場にしたい
- ④ 小学校の統合
 - ・廃校を利用した美術館など
 - ・子どもの行動範囲が広がった（良くも悪くも）
- ⑤ 都市計画
 - ・道路が狭い、混んでいる
 - ・まち全体のバリアフリー化
- ⑥ その他
 - ・くるりんバスを再開して欲しい
 - ・人が集まる理由は？魅力的なまちとは何だろう？

6つの班でそれぞれどのような意見が出たか、全体に向けて発表をしました。

まとめ

東京都立大学 都市環境学部建築学科 助教 讃岐 亮 先生

「公共施設」の解釈が変わってきています。建物だけではなく、公園などのオープンスペースや道路なども公共施設です。また、そこで行われることやサービス、人間関係も公共空間として捉えることができます。「まちづくり」について考えるとき、建物ではなく、そこで「できること」をイメージしてみてください。



ステップ2のワークでは、空き家の活用や道路（交通）、バリアフリー、健康づくりと、多世代の人の様々な意見、考えを共有することができました。

ワークショップに参加したきっかけ（アンケートより一部抜粋）

- 若葉町の未来に関して興味、要望を持っていたため。
- 若葉小の跡地利用について関心があったため。
- 若葉町が住みやすい町になっていくために、考えていきたいから。孫が大きくなっていくのに大切なことだから。
- 多くの町民の意見を反映してほしいと思ったから。
- まちづくりに参加できるよい機会だと思った。
- これから若葉町をより良いまちにしたいと思っているので。

第2回ワークショップは
令和3年2月20日（土）開催予定です



参加者のみなさんからいただいた意見は、下記の方法で公開する予定です。市では積極的な情報発信に努めてまいります。今後も、公共施設に関する情報を提供していきますので、ぜひご利用ください。

■立川市 公共施設再編関連の情報（市ホームページ）

<http://www.city.tachikawa.lg.jp/shise/sesaku/kakushukekaku/kokyosisetsu/index.html>



発行：立川市総合政策部 行政経営課
住所：〒190-8666 東京都立川市泉町1156-9
電話番号：042-523-2111 FAX：042-521-2653

若葉町まちづくりワークショップ

ニュースレター vol.1

第1回若葉町まちづくりワークショップを開催しました！

立川市では現在、公共施設再編個別計画に基づき、公共施設の再編を進めています。若葉町においては、小学校の統合や清掃工場の移転などにより、まち全体が大きく変わろうとしています。市民のみなさんと若葉町の将来について考えるため、ワークショップを開催することとしました。

全8回のワークショップを開催し、まちのこれからについて考えていきます。多くの方に参加いただき、感染症対策を行ったうえで、第1回ワークショップを開催しました。

【全8回プログラム】

- ★第1回 若葉町 まちの今を知ろう
- 第2回 わがまち若葉町を語ろう
- 第3回 将来をイメージしよう
- 第4回 身近にある施設を知ろう
- 第5回 まちに必要な機能ってなんだろう
- 第6回 まちの機能再編にチャレンジ！
- 第7回 ポスターを作ろう！
- 第8回 ポスターセッション



第1回 若葉町まちづくりワークショップ 開催概要

日時：令和2年12月19日（土）13:30～16:00
場所：若葉会館 集会室
参加人数：35名
テーマ「若葉町 まちの今を知ろう ～みんなでやってみよう～」

- はじまり
- ステップ1 みんなでやってみよう
～アイスブレイクで仲間づくり～
- ステップ2 まちの今を知る
① まちの現状
② 共有しよう
- まとめ

